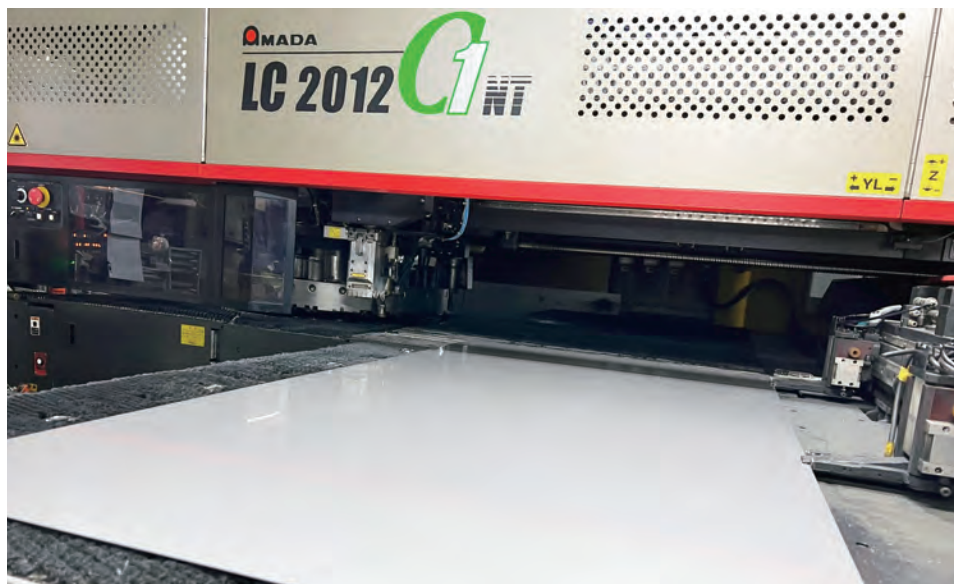


株式会社 山本金属製作所

精密板金加工を 幅広い業界から受注

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



同社の“心臓部”とも言えるレーザ複合加工機

主な事業内容

精密板金加工、金属加工全般、
レーザ彫刻

主な取引先(納入先)

スタジアムや公共団体の議場、
電子機器部品・建築金物メーカー

主な製品

映像機器などの特注製品、
電子機器板金部品など

業務内容

**設計から曲げ、溶接まで
自社工場内で完結**

山本金属製作所は、金属加工全般を扱う。特に得意としているのは精密板金加工で、顧客の要望に応じて設計からCADによる製図、レーザ加工や曲げ加工、溶接といった工程まで、すべて自社工場内で行える。

現社長の嶋村康司氏は二代目。昭和61年に同じ会社勤めていた創業者と一緒に独立し、この会社の立ち上げに携わった。それまでに培った金属加工の技術力への評価は高く、納入先はスタジアムや公共団体の議場、高速道路、空港、国立大学研究機関など多岐にわたる。「取引先は50〜70社ほどに上ります」と、嶋村社長の長男である取締役の嶋村健太氏は話す。

強み 強い武器に レーザ複合加工機が

同社の強みは、最新鋭の金属加工設備にある。“良い機械を入れれば良い仕事”が来る、“という信念のもと、切断や穴あけなどの精密な加工が1台でできるレーザ複合加工機を導入。高額な機械だが、同機を思い切ったことでの加工の高速化・省人化によるランニング

コスト低減を実現した。

現場で加工作業をする社員は少数精鋭部隊だが、「CADによる設計から、溶接その他加工技術まで全員が持っています」と話す嶋村取締役。社費で研修会に参加させるなど、人材育成に注力している成果だ。折衝も含めて一つの取引先を1人がワンストップで対応。顧客のイメージだけの情報から現地の採寸、設計製作までを一貫して受けることも可能で、信用の獲得につながっている。

特注加工 最終工程のレーザ彫刻機も 自社で保有

もう一つの特徴は、レーザ彫刻機を自社で保有していることだ。金属加工の最終段階で、社名などを刻印する機械である。この工程まで自社で完結できることが、当日受付の翌日仕上げといった超短納期の実現や内製化によるコスト削減につながっている。

同社は量産型の加工と特注加工の両方に対応する。スタジアムやコンサート会場向けの音響・映像機器部品加工は特注だ。文字などが刻印できる彫刻機を武器として、「さらに最新設備を導入し、特注品を中心に顧客の幅を広げたい」と嶋村取締役は意欲を見せる。

代表者あいさつ



取締役
嶋村 健太さん

当社の姿勢として、どの企業様に対しても謙虚さを持つことを徹底しています。金属加工業界にとってこの先、さらなる厳しい時代がやってきます。金属加工の職に就いていただいた若い世代の方々へ、我々が負担を残すことなく、技術で生き残る術を継承していくよう努めてまいります。

主な保有設備

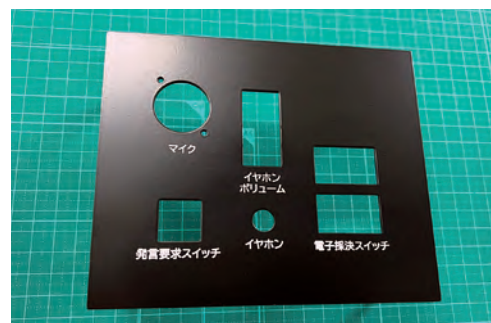
- レーザ複合加工機 LC-2012C1NT
アマダ製 1台
- レーザ彫刻機 EPILOG LASER mini
EPILOG LASER製 1台
- ターレットパンチプレス機
EM255NT アマダ製 1台
- プレーキプレス機 FMBII-3613NTほか
アマダ製 7台
- テーブルスポット溶接機
MYSPOT-3ほか
向洋技研製 8台

大阪
04

住 所／〒570-0041
守口市
東郷通2-12-3
TEL／06-6998-3051
FAX／06-6998-3052
創 業／昭和61年2月
設 立／平成2年6月
資本金／1,000万円
従業員／9名



議場マイクユニットの製作も手がける



特注品、当日受付の翌日納品、塗装工程まで対応する



<https://yamakin-sheetmetal.jp/>